

お元気ですか

南 恵子

です

発行責任者 日本共産党品川区議会議員 南 恵子 八潮5-12-65-503

メールアドレス minami@jcp-shinagawa.com

ニュースを読んでご  
意見をお寄せ下さい。

区議会議員

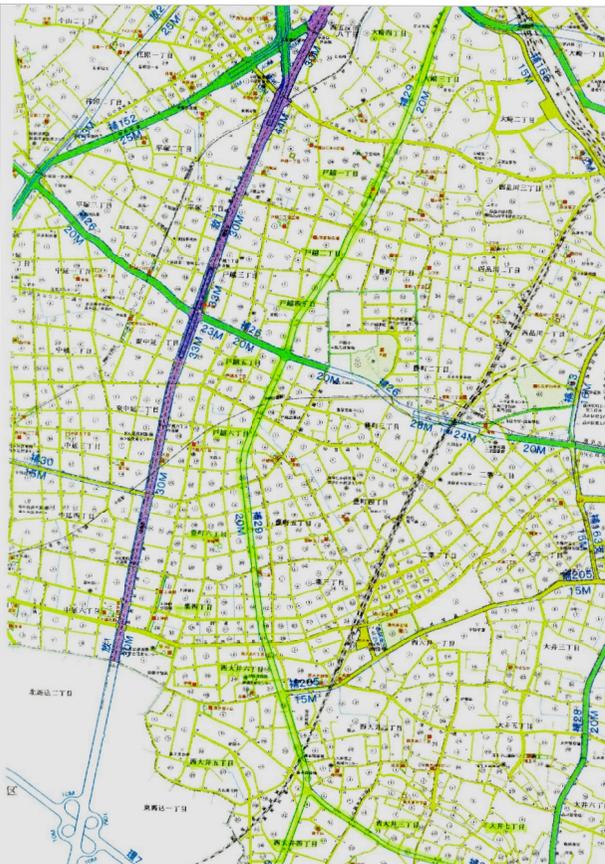
南 恵子

TEL 3790-1523



## 都市計画道路 29・31号線計画 延焼遮断帯をつくるというが 住宅街を貫き 立退きは600戸も

震度7の巨大地震が想定される中、区は都市計画道路29・31号線の建設にとりくもうとしています。しかし、計画線上には商店街や住宅街があり、立ち退いてもらう民家が600戸もあることがわかりました。延焼遮断のためといいますが・・・。



左の表は29号線と31号線の位置をしめした地図です。図の中央を上から下に貫く道路(薄くて見にくいですが)が29号線です。31号線は29号線の下の方から右に伸びる道路で、第一京浜国道につながります。

都道29号線(20m幅)の計画には小学校や幼稚園、公園などの公共施設が9、550戸の住宅、生活の基盤として大事な商店街が10ヶ所もあります。

31号線は15m幅の区道ですが、やはり水神公園や大森貝塚公園などの公共施設と、110戸の住宅があります。住民が生活している住宅と多くの公共施設があるので、過去3回、品川区議会でも道路計画は「廃止」を求める決議がされてきたのです。

それにもかかわらず、なぜ、今、計画を持ち出してきたのでしょうか。

あります。

## 防災対策といいながら再開発推進

区は、道路をつくり、両側に高いビルをつくることで「延焼遮断帯」になり燃え広がらないようなまちづくりを進めるといいます。

実際、29号線の計画には、火災危険度ランク4・5の地域が続いています(過日、配布した「区議会報告」2012年4・5月を参照してください)。木造住宅が密集している事がよくわかります。

木造住宅が密集しているのに住宅耐震化がなかなか進まないで、東京都の計画「木造住宅密集地域10年プログラム」を活用して、幹線道路をつくり、地震で家が倒れて燃え広がらないようにする、また、再開発をしてまちを「不

燃化」させることで、一気に解消しようと考えているのではないのでしょうか。

### 住民参加抜きで 道路やまちをつくるのはやめよ

東京都防災会議は震度7の東京湾直下型地震の想定を発表しました。

それによると、品川区の死者は4倍の779人にもなり、震度6で揺れる範囲が大幅に広がり、ポツポツと震度7が予想される地点があります。

それだけに燃え広がらないまちづくりが必要と考えるのは当然ですが、住んでいる住民抜きの対策では「仏造つて魂入れず」のまちになるのではないかと心配します。

防災に強く、安心して住み続けられるまちは、住んでる人たちが様々な意見を出し合

い、計画を練り上げることが前提ではないでしょうか。

自治体は、情報と財政面で支援するもので、仕分けるべきです。

区は、その立場に徹底して立ち、必要性を住民が理解できるまで粘り強く話し合うことを大事にするべきだと思います。近い将来、大地震が発生するといわれ、緊急性が求められますが、決して強引に進めてはなりません。

### 第一京浜の区道につながる31号線

冒頭で紹介したように、都市計画道路31号線は第一京浜国道につながります。大井7丁目の鹿島庚塚公園からJRを超えて、南大井5・6丁目にあるお祭り広場を通って国道に抜ける計画です。

お祭り広場は地域の憩いの場やコミュニティーの場になっているところなので、道路ができることで失われてしまいます。また、これ以上の車の通行は嫌だという意見もあります。

地域のみなさんご意見をしっかりと伺いたいです。

## 八潮に 6月1日よりオープン 重症心身障害者通所施設 (ピッコロ)

18歳以上の在宅の重度心身障害者が通所し、身体機能維持のための訓練や入浴などで豊かに過ごせる施設。八潮8号棟の1階にあります。

生活・雇用・子どもだて

・教育など何でもお気軽にご相談ください

連絡先 南恵子区議会議員

電話(3790)1523